



新川電機健康経営レポート 2025

ごあいさつ

新川電機株式会社は 2022 年度に健康経営宣言を行い、取り組みを進めて参りました。その結果 2024 年から 2 年連続で、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人（大規模法人部門）」の認定を得ることができました。

私たちはこれからも、従業員とその家族の健康が社会に貢献し続ける企業に最も大切であることを意識し、健康経営の取り組みを推し進めて参ります。

代表取締役 新川文登

健康経営宣言

新川電機グループは、お客様の企業価値向上に貢献するために、従業員とその家族の健康が最も大切であると考えます。

従業員と組織が一体となって心身ともに健康で、いきいきと働き続けられる魅力ある企業づくりを目的として健康経営に取り組みます。

健康経営が目指すもの

従業員は会社にとって大切な人財と考え、社員の健康増進についての施策を戦略的に実践し、社員の疾病発症リスクの低減、社員の活力向上、生産性の向上、職場環境の充実、優秀な人財の確保につなげます。

1. 会社は健康施策を通じて社員の健康保持・増進を積極的に支援します。
2. ヘルスリテラシーの高い社員を増やし、社員一人ひとりが自らの健康について意識して、社員とその家族がより元気でいきいきと生活を送れるように支援します。
3. 社員がやりがいをもって長く安心して働くことのできる、快適職場の形成に努めます。

健康経営推進体制

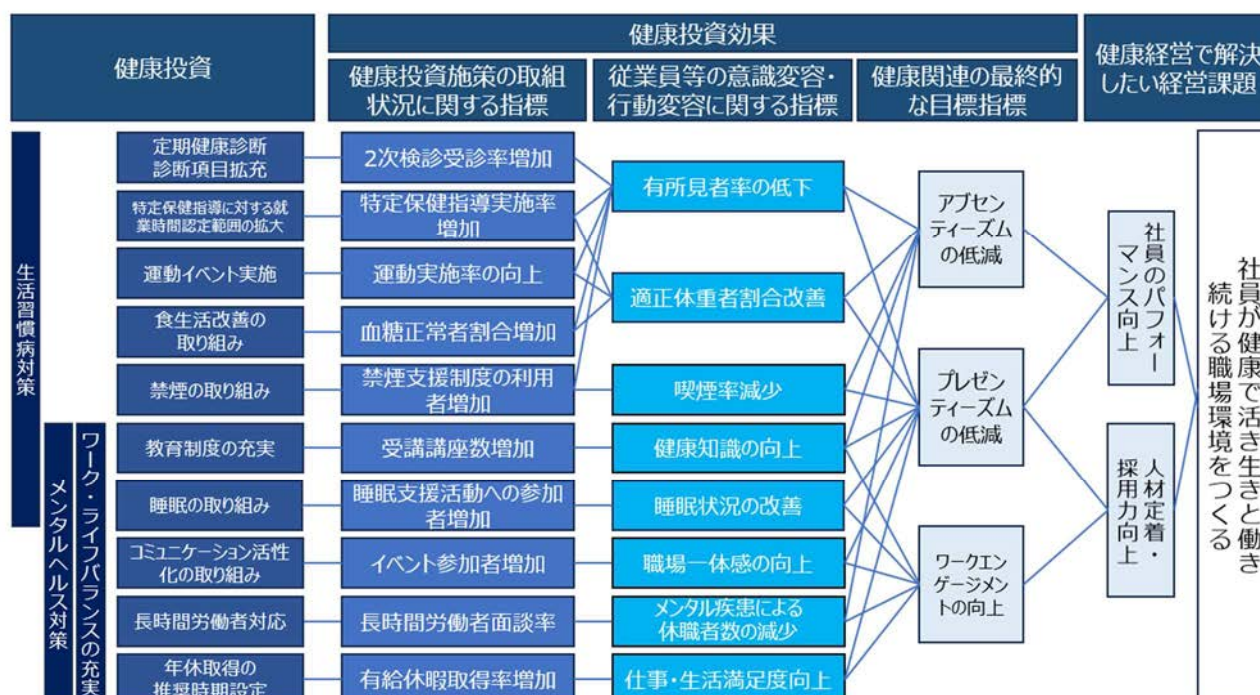


健康経営責任者である社長のもと、直轄の部署として健康経営推進室を設け、専属の保健師などとともに健康経営を推進しています。また従業員組織である運営協議会と定期的に情報共有や協議を行い施策のレビューや今後の方針策定に繋げています。

健康経営で解決したい課題

- ・若年従業員の減少と高齢従業員の増加が進む中、メンタル不調や生活習慣に起因する健康問題で生産性が低下している者が増えてきています。従業員一人ひとりの健康保持・増進に努めることで、パフォーマンスの維持向上に繋がりたいと考えています。
- ・また今後益々新規採用の難易度が高まることが予測される中、入社した社員にできるだけ長く働き続けてもらうには、精神的にも物質的にも快適な職場を構築し、会社の魅力を向上していくことが大きな課題です。

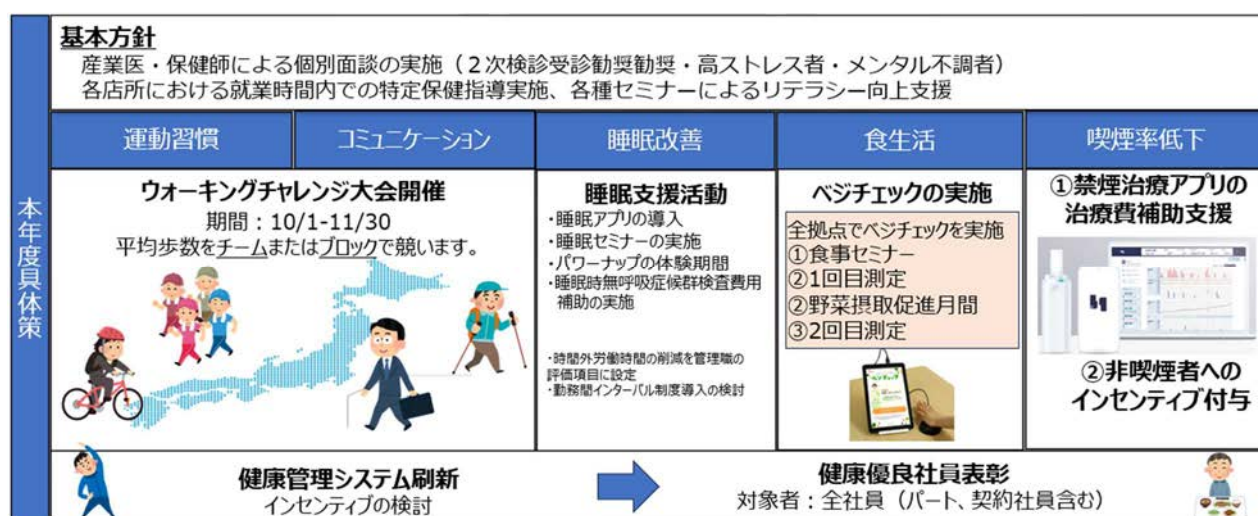
戦略マップ



重点取り組み施策と目標

当社において血糖値の有所見率が年々悪化していることが大きな問題となっています。血糖値異常の改善には生活習慣を改善し適正体重の維持が重要となります。生活習慣の改善を促し適正体重者の増加、糖尿病はもちろん脳血管疾患・心疾患等の生活習慣病リスクを下げていくことを目指し以下の5つの重点施策に取り組んでいます。

- ① 2次検診の受診率向上
- ② 生活習慣の改善（運動習慣の定着、野菜摂取の促進）
- ③ 喫煙率の低下
- ④ 睡眠の質の改善
- ⑤ 職場でのコミュニケーション活性化

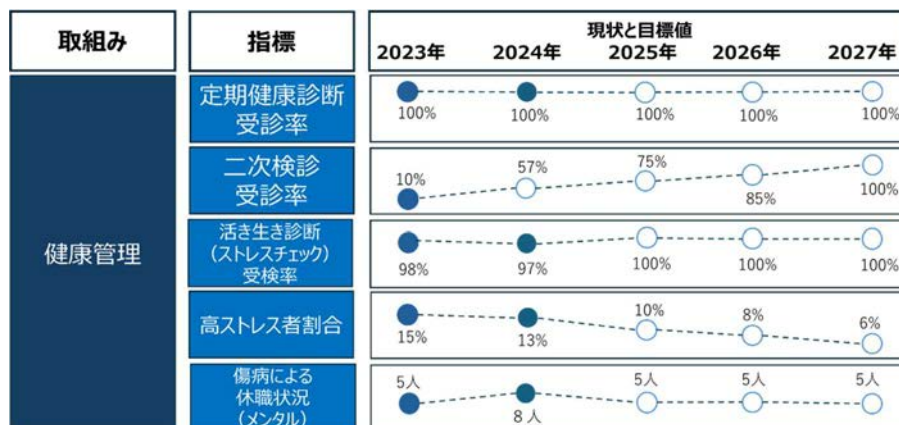


健康管理

当社の健康診断受診率は、毎年 100%を維持しています。疾病の早期発見・早期治療に繋げるため、2次健診の受診率向上が重要と考えています。

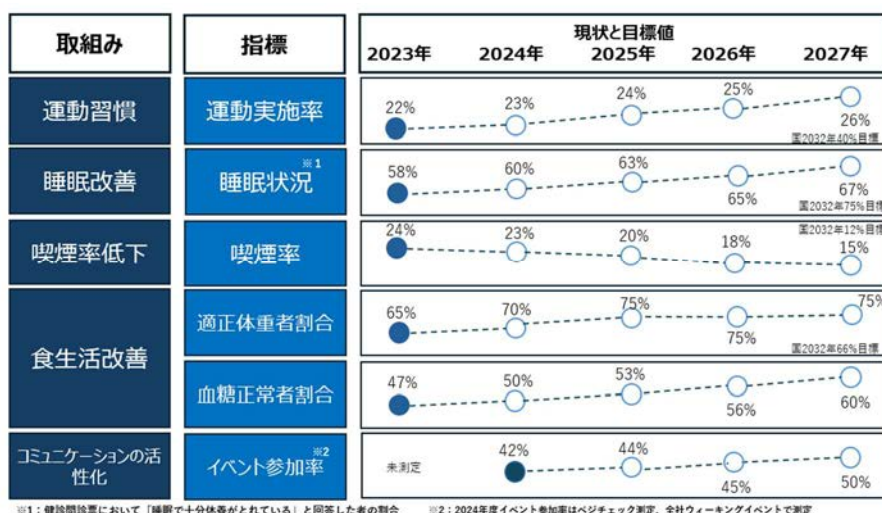
現在、当社の2次健診受診率は2024年度 57.3%と低く、今後は、2次健診の受診率 100%を目標に、医療職による丁寧な保健指導、社員が早期に適切な治療を受けられる仕組みづくりを強化しています。

また、年1回「生き生き診断（ストレスチェック）」を実施、受検率は95%以上を維持しています。高ストレスと判定された社員には、医療職との面談を積極的に勧奨し、メンタル不調の未然防止に取り組んでいます。



健康増進施策

毎年、様々な健康増進施策を展開し、ヘルスリテラシーの向上と生活習慣病全体の改善を視野に、血糖正常者割合と適正体重者割合、喫煙割合の改善につなげていくことを目指しています



健康経営取組みにおける各種数値の推移

当社では健康経営の一環として、従業員の健康に関する数値を定期的に把握・分析し、その取組みの進捗状況として報告してまいります。

項目名	2021年	2022年	2023年	2024年
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
定期健康診断精密検査受診率	34.4%	15.7%	9.9%	57.3%
ストレスチェック受検率	95.6%	96.8%	97.8%	96.6%
特定保健指導実施率	3.7%	3.7%	11.7%	
女性の健康課題に関する施策参加率		89.4%	93.1%	86.9%
eラーニング受講率(ヘルスリテラシー)			94.7%	97.8%
残業時間(年間平均時間)	15.4時間	15.5時間	15.3時間	時間
有給休暇取得率(取得日数/当年付与日)	68.9%	72.4%	73.8%	82.9%
喫煙率	25.3%	25.3%	23.8%	23.5%
運動習慣ありの割合	18.1%	21.4%	22.1%	23.5%
身体活動ありの割合	35.3%	36.6%	35.3%	
就寝前2時間夕食なしの割合	69.2%	67.4%	67.1%	
朝食摂取率	73.7%	71.2%	71.1%	
睡眠での休養がとれている者の割合	60.3%	62.5%	58.2%	
毎日飲酒しない者の割合	73.3%	74.8%	74.8%	
ハイリスク者治療継続率	27.1%	26.2%	27.3%	
適正体重者割合	61.5%	63.3%	64.8%	
有所見率 血圧	29.1%	27.9%	25.6%	
血糖(空腹時血糖 or HbA1c)	49.1%	53.1%	53.5%	
肝機能 (ALT)	24.3%	28.3%	24.1%	
肝機能 (γGTP)	27.8%	23.2%	22.1%	
中性脂肪	25.7%	22.4%	20.1%	
LDL コレステロール	30.8%	29.3%	27.6%	
離職率	3.3%	2.0%	4.1%	2.95%
傷病による休職状況				
フィジカル	4人	6人	7人	4人
メンタル	9人	8人	5人	8人
高ストレス者割合 ^{*1}	7.4%	7.3%	15.2%	13.3%
労働災害件数	7件	9件	6件	7件
全社安全衛生委員会(会議)実施率	99.2%	97.8%	100.0%	98.9%
アブセンティーズム ^{*2}			1.18	0.80
プレゼンティーズム ^{*3}	-	-		24.94
ワークエンゲージメント ^{*4}			2.4	2.5

*1 測定方法：2022年まではARM社、2023年以降は新職業性ストレス簡易調査票

*2 アブセンティーズム：(傷病有休+傷病による有給欠勤+傷病による休職)÷社員数
= (101日+386日+387日)÷740名

*3 プレゼンティーズム：東大1項目版(対象者659名、回答率81.5%)

*4 ワークエンゲージメント：新職業性ストレス簡易調査票(測定人数712名、回答率97.8%)

健康経営取組みにおける投資額・医療費

・健康施策投資額

	2023 年度	2024 年度
健康施策投資額	4,800 千円	10,600 千円

※健康管理システム、食生活改善、喫煙率低下、運動習慣定着、社内体制整備に投資

・一人あたり医療費

	2023 年度	2024 年度
1 人あたり医療費（自社単位）	183 千円	172 千円
1 人あたり医療費（自健保単位）	145 千円	156 千円

2024 年度の主な取組み結果

① 食生活の取組み

- 『野菜をしっかりと摂ろう』キャンペーン
適正体重者割合の改善と血糖値正常者割合の増加を目的に実施
社員の投稿による食事コラムを月刊の社内報に 6 回掲載

- ベジチェック実施
推定野菜摂取量を簡単に測定できる機器「ベジチェック」を用いて実施
1 ヶ月の間隔を空けて 2 回実施し、取り組みの効果を定量的に示すことで食習慣改善の行動変容をサポート



	取り組み対象者※	取り組み参加者
人数	195	147
%	-	75%

※社員、契約社員、パート社員、派遣社員含む

② 喫煙率低下への取組み

- スワン・スワンチャレンジラリー
禁煙希望者 1 人とサポーター 2 名のチームで禁煙にチャレンジ。
実施期間：2024 年 10 月 1 日～2024 年 12 月 27 日の 3 ヶ月間

	取り組み対象者※	取り組み参加者
人数	164	1
%	-	0.6%

※社員、契約社員、パート社員の喫煙者

- 禁煙支援の実施継続

2024 年 2 月に制定した「新川電機におけるたばこに関するガイドライン」に基づき、禁煙プログラムの紹介、禁煙治療費の補助、卒煙記念の贈呈、就業時間内完全禁煙といった取り組みを強化継続



③ 運動習慣定着に向けた取組み

・ウォーキングチャレンジ開催

10月と11月の2ヶ月間に4～6人のグループ単位で平均歩数や社内SNSへの投稿内容などを競うイベントで、運動習慣定着とコミュニケーション活性化を狙った

	取組み対象者※	取組み参加者
人数	755	185
%	-	25%

※社員、契約社員、パート社員、派遣社員含む

チームでお昼のウォーキング

チームでお昼のウォーキングを行いました。

一昨日の朝から、広島市安芸区で平均歩数10000歩を達成した。10月と11月の2ヶ月間、毎日から毎日ウォーキングを頑張りました。

1人は業務終了後、歩数を増やそうと、夜間にもウォーキングをしました。チームみんなで歩数を競いました。



・運動セミナー実施

4月に、定期健康診断結果で血糖（HgbA1c）が高値だった社員を対象にオンラインセミナーを実施

	取組み対象者※	取組み参加者
人数	37	25
%	-	68%

※2024年度定期健康診断を受診(721人)し血糖（HgbA1c）が高値だった社員

・コンディショニングセミナー実施

10月に、全社員向けにライフパフォーマンスアップのためのコンディショニングセミナーをオンラインで実施

	取組み対象者※	取組み参加者
人数	755	106
%	-	14%

※社員、契約社員、パート社員、派遣社員含む



・企業対抗リレーマラソン参加

8月に有志メンバーで「新川 RunRun チーム」を結成し広島市で行われた大会に参加（107位/125組中）

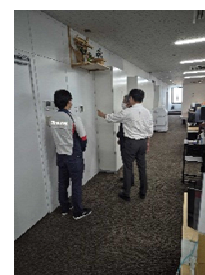
- ・全拠点に血圧計を設置

④ 労働災害対策の取組み

全店所において、毎月安全衛生委員会および安全衛生会議を開催し、労働衛生活動（健康管理、作業管理、作業環境管理）、安全活動（安全運転、ヒヤリハット、リスクアセスメント、保護具の着用・管理）、熱中症予防等労働衛生教育に取り組んでいます。

なお、25年7月には、当社取引先と熱中症予防対策セミナーを共催。産業医講話や安全管理部による事例紹介、取引先による熱中症対策グッズの紹介を行い、従業員、協力会社および取引先の支援につなげました。

また、衛生管理者・安全衛生委員による職場の巡回を定期的に行い、危険箇所がないかを確認し、職場の環境改善につなげています。



⑤ その他社内体制整備

・健診検査項目の追加と検査費用・ワクチン費用補助

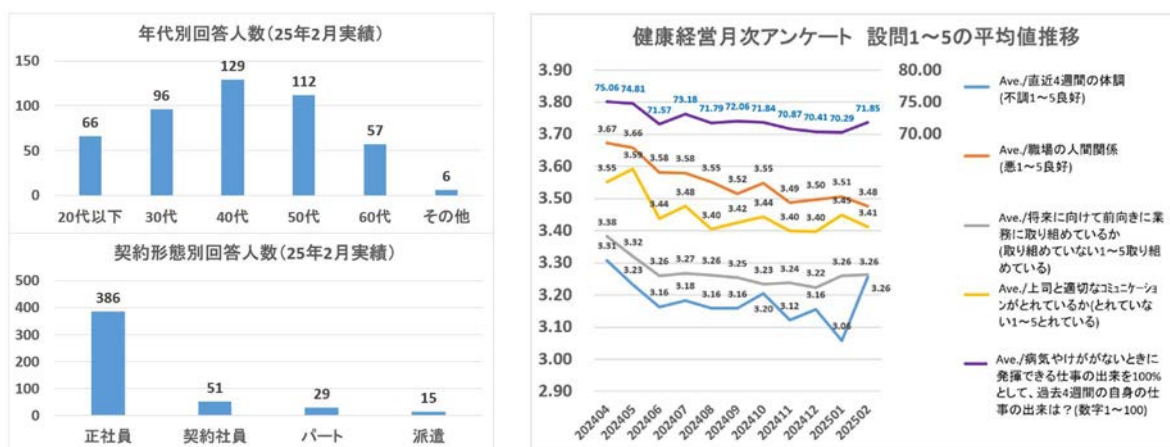
これまでの人間ドックの検査項目にPSAや骨密度測定などを追加すると同時に、脳ドックの費用補助、麻疹風疹の抗体検査やワクチン接種の費用補助を行う仕組みを設けた

・健康経営プロジェクト「女性の健康チーム」発足

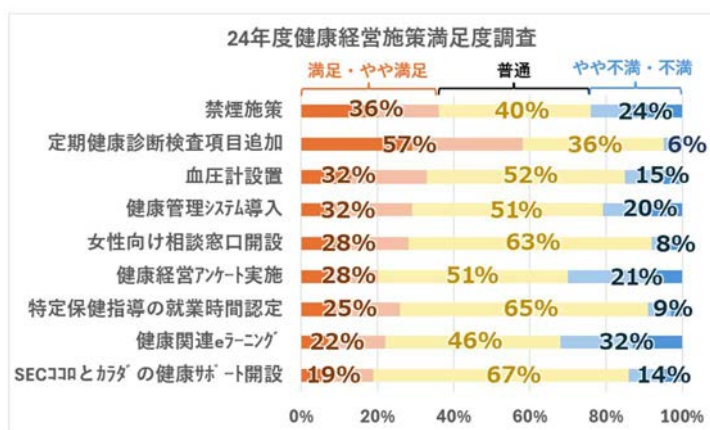
女性社員の生の声を取り入れた女性特有の健康課題に関する取り組みの企画や女性社員へのサポート体制の充実を推進するために「女性の健康チーム」を発足

・健康経営アンケート開始

実行した健康経営施策の理解度や効果を新たな施策に反映させることや、社員の心身の状況をタイムリーに把握するため、1～2分で回答可能なアンケートを2024年4月からパルスサーベイとして実施



・各健康施策の従業員満足度 (2024/7 実施アンケート結果)



健康経営に関連する顕彰の受賞歴

			
顕彰名	健康経営優良法人 大規模法人部門	スポーツエールカンパニー	子育てサポート企業 「くるみん」
受賞年度	2024年度～2025年度	2024年度～2025年度	2014年度
内容	地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している企業が認定されます。	従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業が認定されます。	育児と仕事の両立がしやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業が認定されます。
主管省庁	経済産業省	スポーツ庁	厚生労働省